

平成26年度 事業報告書

平成26年1月 1日から 平成26年 12月 31日まで

認定特定非営利活動法人 アジア教育友好協会

1 事業の概況

平成26年度は、前年度繰越金33,447千円、及び日本財団助成金31,600千円の入金を受けて、事業を開始しました。

事業資金は期初予算を大幅に上回り、AEFA独自でも106,895千円確保できました。学校選定を慎重に進め、18校の建設事業を推進しました。2005年の事業開始以来10年間で、通算建設数は191校となりました。今年度ラオスでは女子寮の建設2棟、中学校3校の建設も含まれ、小学校だけではない、幼稚園—小学校—中学校—高等学校と地域の教育環境を充実させるプロジェクトとして発展してきています。新校舎の建設と合わせ、校舎修繕・フォローアップ事業も増えつつあります。

姉妹校提携推進事業は、日本の小学校43校とのフレンドシップ交流を中心に活発に展開されました。事業開始の2005年度から通算し全国で延べ117校との交流を推進したことになります。なお本年度は東京都教育委員会推薦の出前授業が活発化（47回実施）し、静岡県袋井市の市あげてのベトナムとの交流の本格化、福井県での出前授業の依頼の増加などがあり、出前授業は合計115回実施され、新たにAEFAプログラムの交流校となっていくケースも出てきています。

平成26年度は、これまで推進してきた支援者参加型プロジェクト（建設計画及び成果の共有化）がさらに深まってきました。支援者がプロジェクト主体者としての意識を持ち、学校建設だけでなく、交流事業の支援、地域の産業興しなど、次のステップへつながるプロジェクトが発展しつつあります。こういったプロジェクトを、支援者の方と一緒に実現できることがプロジェクトへの継続的支援となり、AEFA事業の独自性が大きく評価されてきました。その結果、新規支援・継続支援をして下さる団体、企業、個人も増え、支援額は今年度もこれまでの記録を大幅に更新し、106,895千円と、初めて1億の大台を超えることとなりました。

エルセラーン1%クラブ 40,415千円、金井昭雄 11,000千円、進藤鉄男 6,200千円、国際学校建設支援協会、ダイリキ(株)など大口ドナーに加え、アジアの子供たちに学校をつくる議員の会、シルバーアーチ基金、(株)オーイズミダイニング、袋井市ワンコインスクール実行委員会、菊岡夫婦社など団体や企業の支援が多く集まりました。また、(株)近江兄弟社、石原拓一郎、廣部武、アースバンク倶楽部、ほか多くの個人、企業が支援を継続してくださいました。

なお、会員数は会費納入会員164名（未納・休眠会員約70名含まず）、会費収入は1,330千円になりました。今後、会員、ボランティア会員、先生の会員など、AEFAサポーターの輪を広げていきたいと思えます。

日本の交流校でも交流が定着・深化し、支援も大幅に増加しました。日本の子どもたちからの支援金（小中学校58校から）は3,441千円となりました。10年間の累計では10,983千円となり、学校の理解が深まっている証となっています。

また、ワンコインスクール・プロジェクトは、昨年に引き続き福島県いわき市、東京都武蔵村山市で継続されると共に、新たに静岡県袋井市でも始まりました。入金額は、いわき市（1,705千円）、袋井市（3,133千円）、武蔵村山市（476千円）となり、今後の発展が期待されます。

2 事業の成果

1) 学校建設事業について：事業費＝107,357千円＝18校（女子寮2棟は含まず）

これまでの日本財団助成金が建設事業の過半数を超えていましたが、日本財団からの助成金31,600千円に対し、一般からの寄付金は、106,895千円で、一般の寄付者からの寄付金が大幅に上回り、日本財団からの自立基礎が出来た年と言えます。

ベトナムにおける建設は、主に日本財団、エルセラーン1%クラブの支援を中心に中部のカンナム省山岳地帯で4校、北部のティエンカン省、タイグエン省で3校、そして南部のチャビン省では外務省の草の根・人間の安全保障無償資金が入り、1校の建設となりました。ラオスでは、南部のサラワン県、チャンパサック県で、8校の建設が進みました。今年度は新たにネパールの学校建設（楸ディアーズブレイン）にも取り組みました。

ラオスでは、これまで開校式だけに参加していた支援者の方が、開校式の後、次の候補地を視察する新しいツアーの形が始まりました。次の候補地では村人集会に参加し、自ら支援する候補地を確認し、建設前から関わることでプロジェクトに、より実感を持ってもらえるようになりました。

またAEFAの理念に共感する支援者が、建設後のフォローの大切さを認識し、支援者参加型プロジェクトとしてプロジェクト（建設計画及び成果の共有化）が立ち上がってきているのも大きな特徴です。その例として2014年度は、教科書支援、パソコン支援などがあげられます。

建設事業はAEFA事業開始以来、順調に進展し、結果として、累計ではベトナム128校、ラオス51校、タイ9校、中国2校、ネパール1校の総合計191校となりました。

*2014年度建設校一覧・別紙（1）

2) 姉妹校（フレンドシップ校）提携推進事業について：事業費＝10,456千円

(1) 日本の学校とのフレンドシップ交流の深化

本年度は43校の学校が活発な交流を行いました。子供たちの交流だけでなく、今年度は、ベトナム、ラオス、タイのそれぞれの国から、NGOスタッフ、学校の先生、生徒を日本に招聘することができ、現地の生の声を日本に届けられる機会を多く持つことができました。

- ① 7月にベトナムのNGOスタッフと交流校の校長先生が来日し、福井県、東京都、埼玉県の8校の学校を訪問しました。日本の先生方と意見交換をする教育懇談会も東京と福井で開催しました。
- ② 静岡県袋井市が支援したベトナム国クアンナム省のレロイ小学校では、同市の市長をはじめ30名が参加し、8月に開校式が行われました。この支援とともに、袋井市内での出前授業も始動し、出前授業も17回行われました。今後は袋井市としてベトナムとの交流が本格的に始まります。
- ③ 昨年完成したタイ北部山岳地域のファイコン中学校を支援する福島県いわき市の中学校44校の生徒会長サミットが中心となるワンコインスクールプロジェクトが継続しました。12月には、タイから現地NGOスタッフ、学校の先生、中学生2名を招聘し、いわき市の中学生と交流を深めることができました。

(2) 国際理解教育への貢献事業

- ① 12月26日：第9回・AEFAフォーラムを日本財団・会議室にて開催
元民間人校長の藤原和博先生の基調講演に始まり、東京都内を中心に、教師・教育専門家など21名で活発な討論が行われました。
- ② 本年度は出前授業を115回実施。通算377回となりました。東京都教育委員会の推薦による出前授業が47回、静岡県袋井市での出前授業は17回など、交流事業の展開には著しいものがあり、その中でも交流に熱心な先生との出会いは、AEFAのかけがえのない財産でもあります。今後はさらにこれらの先生とともに交流事業を深めていく活動を展開していきたいと思っています。

(3) 教師の養成及び質の向上支援事業

① ラオスにおける奨学金と研修会：

今年度の教師養成奨学金は20名を対象に支援。2014年6月に7名が卒業し、出身地の僻村教師として赴任しました。現在も合計20名の学生が学んでいます。又、教師のスキルアップ合宿研修会を12月に実施しました。

② ベトナムにおける国際的取り組み：

日本財団との共同事業として、カンボジアの師範学校卒業生（10名）と教授など関係者（6名）が、ベトナムのチャビン省ティウカン郡の小学校で合宿研修を行いました。

3) 広報活動について

今年度は、AEFA会報を3回（17, 18, 19号）発行しました。2014年はAEFA10周年の節目となり、『輝く瞳とともに～アジアの途上国に学校をつくった人たちの物語』を8月に発刊し、これまでの活動の集大成となりました。FacebookのAEFAのページも立ち上げ、AEFAブログもこまめに更新していますが、今後さらに幅広い年齢層にAEFAの活動を知ってもらうため、よりインターネットを活用しての広報活動が課題となっています。

今年度も広報活動を積極的に進めました。その結果、日本の新聞／6回、テレビ／3回、ラジオ／1回、雑誌／2回、AEFAの活動が紹介されました。

なお、会員対策及び広報活動の一環として8月2日に「会員の集い」を開催しました。梯剛之のピアノ・コンサートで始まった集いは参加者150名を超える盛会となり、同時に会員や支援者の横のつながりを深める大きな成果を生みました。

3 事業の実施に関する事項

当期収入額 142,379千円＝日本財団31,600＋一般寄付他106,895＋会員会費・他3,884
 当期支出額 127,761千円＝建設事業費107,357＋交流事業費10,456＋管理費9,948
 当期収支残 14,618千円

<対事業支出額内訳>

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (単位：千円)
学校建設事業	<学校建設> ベトナム・ラオス・タイ・ネパール山岳極貧地域の学校建設及びメンテ <地域自立支援> 上記学校建設地域の学校維持を主旨とした生活力向上の為の支援 <教師育成事業> 奨学金事業及び研修会	2014. 1. 1～ 12. 31	4カ国 18校 ＋ 女子寮2棟	6名	地域の住民及び子供生徒数： 1校平均100名程度＝ 合計 1800名 教師数：90名 奨学金：短大50名 小中生50名（小中生 名・短大20名） 研修会：教師50名	107,357

日本の学校との姉妹校提携推進事業	①現地建設校と日本の学校との教育関係者同志の交流、児童の作品交換などを通じての姉妹校提携推進	2014. 1. 1～ 12. 31	3カ国 43校	8名	現地1校当り 約100名 日本1校当り 約100名	10,456
	②出前授業：福井県／袋井市／岡山県など約40回。東京都武蔵村山市ほか都内約75回。合計115回	2014. 1. 1～ 12. 31	各地域	10名	各回：約100名 合計：約10,000名	
	③東京フォーラム	2014. 12. 26	日本財団		教育関係者他：25名	

別表一 1

2014度 建設校一覧

	国名	地域	学校名	備考	
1	ベトナム	クアンナム省	グエンフエ小学校	エルセラーン1%クラブ	
2			第4社小学校バウ分校	日本財団	
3			チューオム中学校		
4			レロイ小学校第二分校	エルセラーン1%クラブ+日本財団	
5		ティエンカン省	チュンハ小学校リエンソンA分校	エルセラーン1%クラブ	
6			チュンハ小学校リエンソンB分校	彦建設+日本財団	
7		タイグエン省	ヴァンラン小学校リエンフォン分校	エルセラーン1%クラブ	
8		チャビン省	タンホアB小学校	草の根資金+(株)ディアーズブレイン	
9	ラオス	サラワン県	ナサイスアイ小学校	(株)菊岡夫婦社	
(1)			パチュドン女子寮	高山秀子	
10			ファイラ中学校	シルバニア基金	
11			ナボーン中学校	ダイリキ(株)	
12			ファイラ小学校	金井昭雄	
13			ヴァングア小学校		
14			ハーコーナム小学校	進藤鉄男	
(2)			ブオンナム女子寮	中舛 S. I.	
15		チャンパサック県	ホイヘー小学校	エルセラーン1%クラブ	
16			パークアイ小学校		
17		タイ	チェンマイ県	カラヤニワッタナ中学校	(株)オーイズミダインク
18		ネパール	カブレ県	バルカルリアン小中学校	(株)ディアーズ・ブレイン